

老人ホーム

木曾寮だより

第 64 号

年 2 回発行

木曾広域連合
 養護老人ホーム木曾寮
 TEL 0264-52-2054
 FAX 0264-52-2934
 Eメール kisoryou@kisoji.com

亡き友を想う

杉本 福子

私は木曾福島で生まれ木曾福島で育ちました。

若い頃、学校の親友が開田の西野に住んでおり、そこまで歩いて遊びに行っていました。

今では車で行けばすぐですが、その当時はお弁当を持って地蔵峠を歩いて越えて開田に入ります。途中、峠の頂上付近にお地蔵様があり、その先の御嶽山が一望できるところでお弁当を食べました。

すぐ下に茶屋のような小屋があつて、郵便配達の方が開田からの郵便物と木曾福島からの郵便物を交換しそれぞれ来た道に戻って行きました。

峠を越えると末川を渡りますが、西野はまだまだ先で

す。その頃の道は舗装されていない砂利道で、車などは走っておらず荷車ぐらいのものでした。辺りも大きな木が茂っていて薄暗いところもあり怖い思いもしました。

西野には日が傾く頃に着き、親友の家に泊めてもらいました。開田は夏でも涼しく、歩いていても汗すらかかなかったように思います。

親友の家は商売をしていて、遊びながらお店のお手伝いをして楽しい時間を過ごしました。

その親友も今はこの世にはおりませんが、その頃の楽しい思い出は今でも私の心の中に生きています。



上松保育園児との交流



中学生の福祉体験

正月

岩本 實

私は上松の生まれです。

最近はいよいよ雪が降らなくなりましたが、私の子供の頃は上松でも今より雪が降って積もったように思います。友達と雪だるまを作ったり竹スキーで遊んだ思い出があります。

お正月には家族が集まってお祝いをし、兄達とカルタやトランプそれにみかん釣りをしたりしました。

でも一番の楽しみはやっばりお年玉です。

お正月が明けると八幡神社の広場にダルマや正月飾りを山のように積み上げどんど焼きをして、そこでお餅を焼いて食べました。

ここ木曾寮でもお正月が明けると、中庭でどんど焼きをするので、子供の頃の楽しかったことを思い出します。